

ふ る さ と 小 野 町 会
ふれあい通信

終活にありて想うこと



学童擁護ボランティアをしています

郡司 勇

- 東京支部
- 飯豊出身

故郷を離れ早60年。もうというかやっとなんか…振り返るとあつという間でありました。

母校の飯豊中学校は遠い昔に統合され、山ふところの飯豊の丘にあった小学校も統合されたとのこと。少子高齢化の時代の流れでしかたがないとはいえ、もの寂しい気持ちになります。

私も終活を迎える年代となりましたが、思い出されるのは故郷で過ごした若き日々のできごとです。

小学校の校門前から下る坂道は、冬のそり滑りの格好の場所でした。当時は雪が一尺(約30cm)近く積もっていました。またその校門のそばに、一人では抱えきれないほど太い幹の柳の木があり、夏になるとおにむし(クワガタ)がいたものです。

幼少期に体験した風習なども懐かしく思い出します。当時は、旧正月に「かさどり」という風習がありました。

その年の年男、年女の人が寒さ厳しい夜に、何歳男とか女とかと書いた紙をザルの中に入れて他家の玄関先に置き、戸をドンドンと叩き隠れる。その家の人がザルを家に取り入れ、紙を見てどこの誰だろうと推測をする。そのザルにお土産として、餅やみかんなどを入れて玄関先に返す。

このような風習で、それを取りに来る人を隠れ見るのは野暮で、決してしない暗黙のルールがあったと思います。それが旧正月の楽しみでもありました。

このほかに思い出すのは、昼のポー。

小野新町のどこで鳴らしていたのか(鉄興社と聞いていたが)、正午になると、ポーという音が一里離れた飯豊八幡にも聞こえてきました。農家では、その音を合図に作業を中断し、昼食のため家に戻っていました。

故郷の思い出は尽きません。東京のコロナ禍の中で懐かしき故郷を想い、振り返る日々です。

福島県警察官等採用候補者試験のお知らせ

令和3年度の福島県警察官等採用候補者試験の実施を下記のとおり予定しています。

たくさんの方のご応募をお待ちしています。

受験資格・試験の詳細や応募方法などについては、県警察本部や県人事委員会のウェブサイトをご覧ください。

試験の種類	受付期間	試験日		受験資格
		第1次試験	第2次試験	
警察官A (大卒程度第1回)	4月9日(金)まで	5月16日(日)	6月29日(火)から 7月2日(金)まで	昭和63年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学(短期大学除く)を卒業した方もしくは令和4年3月末日までに卒業見込みの方またはこれらの方と同等の資格があると人事委員会が認める方

問 田村警察署小野分庁舎総務係

☎72-2121

問 県警察本部警務課人事係

☎0120-276-314(採用フリーダイヤル)

問 県人事委員会事務局

☎024-521-7590